

あいちトリエンナーレ 2019 における会議の開催状況

○運営会議

日 時	議 題
2017. 7. 18	1 平成 28 年度事業報告及び収支決算について 2 あいちトリエンナーレ 2019 芸術監督の選任について
2017. 10. 20	1 テーマ、コンセプト 【報告】 1 メインビジュアル等
2018. 3. 22	1 あいちトリエンナーレ 2019 の開催概要について 2 平成 30 年度事業計画及び収支予算について 3 あいちトリエンナーレ実行委員会規約の一部改正について
2018. 7 (書面表決)	1 平成 29 年度事業報告について 2 平成 29 年度収支決算について 3 あいちトリエンナーレ実行委員会規約の一部改正について
2019. 3. 27	1 平成 31 年度事業計画及び収支予算について 2 あいちトリエンナーレ実行委員会規約の一部改正について 【報告】 1 「あいちトリエンナーレ 2019」の進捗状況について 2 有識者部会の結果について
2019. 7 (書面表決)	1 2018 年度事業報告について 2 2018 年度収支決算について

○その他の会議

日 時	会 議 名
2017. 5. 1	有識者部会
2017. 5. 1	第 1 回芸術監督選考委員会
2017. 6. 4	第 2 回芸術監督選考委員会
2017. 10. 20	有識者部会
2018. 3. 22	有識者部会
2018. 4. 25	参与会議
2019. 3. 27	有識者部会
2019. 4. 26	参与会議

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議議事録

1 日時

平成 29 年 7 月 18 日（火）
午後 1 時 00 分から午後 1 時 20 分まで

2 場所

愛知県庁本庁舎正庁（6 階）

3 出席委員等

14 名（別紙出席者名簿のとおり）

4 議事

- (1) 平成 28 年度事業報告及び収支決算について
- (2) あいちトリエンナーレ 2019 芸術監督の選任について

議事(1)及び(2)について、意見等はなく原案どおり決定された。

5 その他

質疑等なし

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議出席者名簿

愛知県知事	大村 秀章	
名古屋市長 (代理 副市長)	河村 たかし (堀場 和夫)	代理出席
名古屋商工会議所会頭	山本 亜土	欠席(委任)
一般社団法人中部経済連合会会長	豊田 鐵郎	欠席(委任)
名古屋商工会議所専務理事	小川 秀樹	欠席(委任)
一般社団法人中部経済連合会専務理事	小川 正樹	
中日新聞社代表取締役社長 (代理 中日新聞社事業局長)	大島 宇一郎 (加藤 宏幸)	代理出席
日本放送協会名古屋放送局局長 (代理 日本放送協会名古屋放送局広報・事業部長)	中野 谷公一 (佐々木一浩)	代理出席
独立行政法人国際交流基金理事	柄 博子	欠席(委任)
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	
愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	
愛知県民生活部長	鳥居 保博	
名古屋市観光文化交流局長	渡邊 正則	欠席(委任)
公益財団法人愛知県文化振興事業団理事長	野村 道朗	
公益財団法人名古屋市文化振興事業団理事長 (名古屋文化振興事業団副理事長)	平野 幸久 (山田 哲郎)	代理出席
多摩美術大学学長	建 島 哲	
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	欠席(委任)
多摩美術大学教授	港 千尋	欠席(委任)
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	欠席(委任)
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	欠席(委任)
名古屋市立大学教授	水野 みか子	
山口大学教授	藤川 哲	欠席(委任)
南山大学教授	川北 眞紀子	欠席(委任)
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	欠席(委任)
(監事) 公認会計士・税理士	柘植 里恵	
(監事) 文化行政経験者	大野 明彦	

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議議事録

1 日時

平成 29 年 10 月 20 日（金）
午後 1 時 30 分から午後 2 時 00 分まで

2 場所

愛知芸術文化センター 大リハーサル室（地下 2 階）

3 出席委員等

16 名（別紙出席者名簿のとおり）

4 議事

テーマ、コンセプト

5 報告事項

メインビジュアル等

6 結果

議事について、意見等はなく原案どおり決定された。

7 その他

質疑等なし

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議出席者名簿

愛知県知事	大村 秀章	
名古屋市長 (代理 副市長)	河村 たかし (堀場 和夫)	代理出席
名古屋商工会議所会頭	山本 亜土	欠席
一般社団法人中部経済連合会会長	豊田 鐵郎	欠席
名古屋商工会議所専務理事	小川 秀樹	欠席
一般社団法人中部経済連合会専務理事	小川 正樹	
中日新聞社代表取締役社長 (代理 中日新聞社事業局長)	大島 宇一郎 (加藤 宏幸)	代理出席
日本放送協会名古屋放送局局長 (代理 日本放送協会名古屋放送局広報・事業部長)	中野 谷公一 (佐々木一浩)	代理出席
独立行政法人国際交流基金理事	柄 博子	欠席
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	欠席
愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	
愛知県県民生活部長	鳥居 保博	
名古屋市観光文化交流局長	渡邊 正則	欠席
公益財団法人愛知県文化振興事業団理事長	野村 道朗	
公益財団法人名古屋市文化振興事業団理事長 (名古屋市文化振興事業団専務理事兼事業局長)	平野 幸久 (柵木 厚)	代理出席
多摩美術大学学長	建 畠 哲	
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	
多摩美術大学教授	港 千尋	欠席
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	
名古屋市立大学教授	水野 みか子	欠席
山口大学教授	藤川 哲	
南山大学教授	川北 眞紀子	
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	欠席
(監事) 公認会計士・税理士	柘植 里恵	欠席
(監事) 文化行政経験者	大野 明彦	

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議 議事録

1 日時

平成 30 年 3 月 22 日 (木)

午後 1 時 30 分から午後 2 時 10 分まで

2 場所

愛知県庁本庁舎 6 階 正庁

3 出席委員

愛知県知事 (会長) 始め 17 名

4 議事

議案 1 あいちトリエンナーレ 2019 の開催概要について

議案 2 平成 30 年度事業計画及び収支予算について

議案 3 あいちトリエンナーレ実行委員会規約の一部改正について

議案 1 から 3 について、特に意見等なく、原案通り了承された。

—以上—

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議出席者名簿

(敬称略)

愛知県知事	大村 秀章	
名古屋市長	河村 たかし	欠席
名古屋商工会議所会頭	山本 亜土	欠席
一般社団法人中部経済連合会会長	豊田 鐵郎	欠席
名古屋商工会議所専務理事	小川 秀樹	
一般社団法人中部経済連合会専務理事	小川 正樹	欠席
中日新聞社代表取締役社長 (代理 中日新聞社事業局長)	大島 宇一郎 (加藤 宏幸)	
日本放送協会名古屋放送局局長 (代理 日本放送協会名古屋放送局広報・事業部長)	中野 谷公一 (佐々木一浩)	
独立行政法人国際交流基金理事 (代理 ジャポニスム事務局部長 審議役)	柄 博子 (伊東 正伸)	
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	
愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	欠席
愛知県県民生活部長	鳥居 保博	
名古屋市観光文化交流局長	渡邊 正則	
公益財団法人愛知県文化振興事業団理事長 (職務代理) (代理 愛知県文化振興事業団常務理事)	知崎 剛久	
公益財団法人名古屋市文化振興事業団理事長	平野 幸久	欠席
多摩美術大学学長	建 畠 哲	
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	欠席
多摩美術大学教授	港 千尋	
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	欠席
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	
名古屋市立大学教授	水野 みか子	
山口大学教授	藤川 哲	
南山大学教授	川北 眞紀子	欠席
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	
(監事) 公認会計士・税理士	柘植 里恵	
(監事) 文化行政経験者	大野 明彦	

【アドバイザー、幹事】

(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局部長 審議役	伊 東 正 伸	委員(代理)として出席
愛知県県民生活部文化芸術課長	宮 澤 祐 子	代理出席
名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部長	山 内 正 照	代理出席
名古屋商工会議所総務部長	馬 場 宏 之	欠席
一般社団法人中部経済連合会企画部長	森 浩 英	欠席
愛知芸術文化センター管理部長	中 野 充 康	
公益財団法人愛知県文化振興事業団常務理事	知 崎 剛 久	委員(職務代理)として出席

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議 議事録

1 日時

平成 31 年 3 月 27 日（水）午後 1 時 30 分から午後 2 時 10 分まで

2 場所

愛知芸術文化センター 12 階アトスペース A

3 出席委員

愛知県知事（会長）始め 17 名

4 議 事

議案 1 平成 31 年度事業計画及び収支予算について

議案 2 あいちトリエンナーレ実行委員会規約の一部改正について

議案 1、2 について、意見等はなく、原案通り了承された。

5 報告事項

(1) 「あいちトリエンナーレ 2019」の進捗状況について

(2) 有識者部会の結果について

報告事項(1)、(2)について、質疑等なし。

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議 出席者名簿

(敬称略)

所 属・職	氏 名	備 考
愛知県知事	大 村 秀 章	
名古屋市長 (代理 副市長)	河 村 た か し (廣 澤 一 郎)	代理出席
名古屋商工会議所会頭	山 本 亜 土	欠席 (委任)
一般社団法人中部経済連合会会長	豊 田 鐵 郎	欠席 (委任)
名古屋商工会議所専務理事	小 川 秀 樹	欠席 (委任)
一般社団法人中部経済連合会専務理事	小 川 正 樹	欠席 (委任)
中日新聞社代表取締役社長 (代理 事業局次長)	大 島 宇 一 郎 (西 原 健 二)	代理出席
日本放送協会名古屋放送局局長	島 田 敏 男	
独立行政法人国際交流基金理事 (代理 文化事業部審議役)	柄 博 子 (伊 東 正 伸)	代理出席
愛知県立芸術大学学長	白 木 彰	欠席 (委任)
愛知芸術文化センター総長	神 田 真 秋	
愛知県県民文化部長	鳥 居 保 博	
名古屋市観光文化交流局長	渡 邊 正 則	欠席 (委任)
公益財団法人愛知県文化振興事業団理事長	菅 沼 綾 子	
公益財団法人名古屋市文化振興事業団理事長 (代理 専務理事兼事務局長)	平 野 幸 久 (柵 木 厚)	代理出席
多摩美術大学学長	建 畠 哲	欠席 (委任)
東北大学大学院教授	五 十 嵐 太 郎	欠席 (委任)
多摩美術大学教授	港 千 尋	
京都市立芸術大学教授	加 須 屋 明 子	
国立国際美術館副館長	中 井 康 之	
名古屋市立大学教授	水 野 み か 子	欠席 (委任)
山口大学教授	藤 川 哲	
南山大学教授	川 北 眞 紀 子	
紫牟田伸子事務所	紫 牟 田 伸 子	
(監事) 公認会計士・税理士	柘 植 里 恵	欠席
(監事) 文化行政経験者	大 野 明 彦	
(芸術監督) ジャーナリスト／メディア・アクティビスト	津 田 大 介	

あいちトリエンナーレ実行委員会運営会議 出席者名簿（オブザーバー）

（敬称略）

【アドバイザー】

所 属・職	氏 名	備 考
(独)国際交流基金文化事業部審議役	伊 東 正 伸	委員の代理出席

【幹事】

所 属・職	氏 名	備 考
愛知県県民文化部文化芸術課長	山 口 智 絵 子	
名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部長 (代理 名古屋市観光文化交流局文化歴史まちづくり部文化振興室長)	山 内 正 照 (上 田 剛)	代理出席
名古屋商工会議所総務管理部長	馬 場 宏 之	欠席
(一社)中部経済連合会企画部長	森 浩 英	欠席
愛知芸術文化センター管理部長	浅 野 宏 明	
(公財)愛知県文化振興事業団常務理事	知 崎 剛 久	

【参与】

所 属・職	氏 名	備 考
愛知県美術館館長	南 雄 介	
愛知県芸術劇場館長	丹 羽 康 雄	
名古屋市美術館館長	早 瀬 弘 親	

あいちトリエンナーレ実行委員会 有識者部会の結果概要

1 日時

平成 29 年 5 月 1 日（月） 午後 2 時から午後 3 時まで

2 場所

愛知芸術文化センター 会議室 4（7 階）

3 出席者

14 名（別紙「出席者名簿」のとおり）

4 質疑応答

(1) 開催結果（主な意見） ※→は、XXXXXXXXXXの発言内容

① XXXXXXXXXX

・もう少し地元・地域に密着した、日本的な歴史・文化そのものを理解する様な（内容の）取り組みをするのがよいと思う。

→名古屋特有の歴史・文化を掘り起こすような内容があると良い。

② XXXXXXXXXX

・過去 3 回の経験を裏切るような仕掛けづくりなど、4 回目開催にあたっても新しい違う試みがあると良い。

・ここ 1～2 年、世界の情勢がかなり激動している。その変革の内容も意識しながら、次回のテーマに取り入れると、海外からの参加アーティストや海外メディアも関心を持ってくれると思う。時代性を踏まえることが良い。

→多くの方向性は変えず、テーマや内容により期待とは違うものを提案する。

③ XXXXXXXXXX

・あいちトリエンナーレは、各回テーマをきっちり設けることによって、目的を達成している。

・過去の開催から、あいちトリエンナーレらしさが見えて来た感じを受けている。

・華やかしさは阻害してしまうが、政治的な動き、社会変革を映し出す様なトリエンナーレができれば、あいちトリエンナーレらしさを出せるのではないかと思う。

④ XXXXXXXXXX

・テーマを設定して見せるという事は担保しながら、十分に日常に浸透しているとは思いますが、その部分が弱いということならば、そのためのチームや連携を強化していくといいと思う。

⑤

- ・自分の専門が [] ということもあり、PAに思入れを持って鑑賞したり、参加したりした。
- ・地元密着型の動き方や企画なども取り入れながら、世界的なものやっており、各回の芸術監督の個性が良く出ており面白い。
- ・日本の中での知名度や影響力はかなり出てきたと思うが、世界への発信はもっとさらに行い、更に存在感のあるものにして欲しい。あいちの名前が更に浸透されていくためにも続けて開催していくと良い。

⑥

- ・2010のオープニングのシンポジウム以降、毎回シンポジウムなどで関わりを持たせてもらっている。
- ・2年毎のビエンナーレではなく、3年毎のトリエンナーレにしたことで、しっかり準備して、いい国際展を作っていこうという姿勢だと思う。
- ・2013のヴェネチアビエンナーレのガイドブック（作家解説：1000字）や会場のキャプションは非常に詳しかった。
- ・2016のあいちトリエンナーレの会期に配布される無料アーティストガイド（作家解説：180字）や会期中途に発刊されたカタログ（作家解説：420字）の作家解説の状況であった。
- ・今後は作家や作品について、丁寧に解説することが必要であると思う。そのためには、美術館の現代美術を専門にしている学芸員に解説を書いてもらおうと良い。一般の方に分かる言葉が使える人に書いてもらい、各会場に置くことが大切である。
- ・文書を読まない若者のために、インスタグラムやユーチューブなどの映像や写真を使用して、作家のイメージを掴めるような工夫もあったら良い。

⑦

- ・生活者がトリエンナーレをどのように捉えているかをもう少し開いてみるも良い。
- ・学生にトリエンナーレのことを聞くと、聞いたことがあるが、行ったことないという声を聴く。
- ・生活のレベルまで降りてこない、なかなか理解されないと思う。

⑧

- ・アートをきっかけとした地域の町おこし、大小様々な芸術祭が開催されている中、あいちトリエンナーレが大事にしておくべきことについては、崩さない方が良くと思う。
- ・(開催目的の) 世界の文化芸術の発展に貢献するといった場合、どういう風に発展に貢献できるのかは、しっかり持っていた方が良い。
- ・あいちトリエンナーレはハイレベルな所に向かっており、それを3年に1回享受できる状況で開催していると思うので、身の回りのものがアートや古着を使ってなんとかするというのを合致させることが大切なのかは、しっかり考えた方が良い。よって、日常生活に芸術文化が浸透する方向については、真剣に考えた方が良い。
- ・地域の魅力の向上とアートを必ずしも一致させる必要はないと考えており、この機会を地域でもある程度活動できる期間等と捉えると良い。

⑨

- ・現代美術と舞台芸術の複合的な展開は、あいちトリエンナーレの特色であると思う。なお、現代美術と舞台芸術の境はなくなって来ている。
- ・オペラは演出でいろんな風に変えられるということから、演出面で現代美術に近づけるようなものを上演できたら良いと思う。
→勅使河原さんのオペラは、極めて挑戦的で面白かったと思っている。

⑩

- ・少しずつ小粒になって来ているような印象(実感)がある。
- ・面白く・インパクトのある作品が見たいとの声を多く聞いたので、次回はテーマ性と第1回目の祝祭性のようなものをどのようにバランスを取っていくことが重要になってくるような気がする。

(2) 開催結果(質問)

：次の10年は、どのようにされるのか。

：文化芸術を引っ張っていくものでもあり、先導役にもなるし、目標にもなるし、権威も持つだろうと位置付け、この地域の文化芸術の振興のための50・100年の軸にしたいとして始めた。時代によって方向性が大きく変わるものではなく、シチュエーションや時代性により変わっていくとは思いますが、この地域の軸としたい。

個々には、次回・次々回については委員との議論や芸術監督の提案を受けて決めていくことであり、明確に10年後はどうかなど決まったものはない。

：次の10年の希望を申し上げたい。

「あいち」が国際的に「あいち」と知られるような国際展にしたい。国際的な作品があるだけでなく、国際的な位置付けになるようなことを考えていきたい。

あいちトリエンナーレ実行委員会 有識者部会
出席者名簿

【有識者部会委員】

愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	
多摩美術大学学長	建畠 哲	
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	
多摩美術大学教授	港 千尋	欠席
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	
名古屋市立大学教授	水野 みか子	
山口大学教授	藤川 哲	
南山大学教授	川北 眞紀子	
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	

【アドバイザー】

(独) 国際交流基金文化事業部長	伊東 正伸	欠席
------------------	-------	----

【オブザーバー】

愛知県県民生活部長	鳥居 保博	
愛知県美術館館長	南 雄介	
愛知県芸術劇場館長	丹羽 康雄	
名古屋市美術館副館長	深谷 克典	館長代理

あいちトリエンナーレ実行委員会 第1回芸術監督選考委員会（結果概要）

1 日時

平成29年5月1日（月） 午後3時15分から4時まで

2 場所

愛知芸術文化センター 会議室4（7階）

3 出席者

委員6名、オブザーバー3名（別紙「出席者名簿」のとおり）

4 議事概要

進行に先立ち、本委員会開催要領第6条第1項の規定により、[]を本委員会の委員長に、また、同条第3項にある委員長の職務代理者として[]を、それぞれ指名することで出席者了解。

（1）芸術監督選考に向けたスケジュール

特になし

（2）あいちトリエンナーレ2019芸術監督の選考条件（案）について

（[]）

前回からの変更点はどの点か。

（事務局）

②の文言を本年3月28日の運営会議での議論を踏まえたものとしているほかは大きな変更はない。

（[]）

次回トリエンナーレに向けたこの先1～2年は、世界における大きな変動が予測され、現代美術を柱とするあいちトリエンナーレもこの流れに無関係ではいけないのではないかと考えており、こうした世の中の流れやテーマを汲み取ることのできる人物が求められていると思う。

（[]）

選考条件（案）②の冒頭に「同時代性を踏まえた」との文言を加えてはどうか（一同了解）。

（3）芸術監督候補者についての意見交換（分野、人物像など）

（[]）

国籍に制限はないのか。海外からの芸術監督に関する文言を選考条件（日本語で最低限のコミュニケーションが可能、英語を理解する等）に加えたほうが良いのでは。

()

日本では、海外からの芸術監督を迎えた前例がまだないが、これまでも議論になったことはあり、現時点で海外からの芸術監督を排除するものではない。選考条件へは特段明記しなくても良いのではないか。

()

2010年と2016年を比較すると、芸術監督が会場に所在する頻度が増加しているとの印象を受けており、これはレクチャーやアーティスト・トーク等の監督が出席するイベントが増加していることが一因であると理解しているが、報酬を再検討する必要はないか。

(事務局)

報酬については、芸術監督が決定してから具体的に調整させていただく。2016年の港監督には、長者町にレジデンスを置き活動していただいたが、これが地元芸術団体やマスコミから受け入れられる大きな要因となったものと感じており、次回芸術監督にもそういう方が就いてくださると事務局としては有難い。ただ、事務局が方向性を提示するものではなく、芸術監督本人の意向や現在担当している業務とのバランスもあるため、事務局から名古屋に常駐を依頼するものではない。

また、芸術監督の下に全般的なマネジメントを行う立場の人物を置くことも検討中であるため、現代美術に明るい人物以外の候補者も視野に入れることができ、可能性が広がるのではないかと考えている。

()

過去の芸術監督は、それぞれ専門分野が全く異なるが、芸術監督候補者を検討するにあたり、専門分野をどう位置づけて考えたら良いのか。

()

過去のいずれの芸術監督についても、幅広い興味や素養を持つ人物との観点から検討した結果、選定されたものであり、意図的に様々なジャンルの専門家を推薦したわけではない。

()

2016年の港監督も、写真家、エッセイストといった多面的な顔を持つ方であり、アート一本で活動されてきた方ではないが、芸術監督に求められるのはしっかりと基本理念を定めることであり、その理念を基に音楽やパフォーマンス・アーツを如何に展開していくかを検討することになる。

([REDACTED])

あいちトリエンナーレは芸術文化センターがメイン会場となるため、同センターが専門的なキュレーションをフォローできる体制が整っていると承知しているが、次回もこの体制に変化はないか。

(事務局)

分野毎にキュレーター、プロデューサーを置きサポートすることを考えているので、芸術監督を選考する上で分野に拘泥する必要はないと思うものの、メディアへ露出する機会が増えることが予想されるため、現代美術について対外的にきちんと説明できる人物であることが望ましい。

([REDACTED])

思い付く具体的な候補者案を持ち合わせていないが、一定の時間を捻出できる人物となると、大学教授に限らず、海外からの起用も視野に入れつつ、多様なジャンルで活躍し広い知見を持つ人物を検討する必要があるかもしれない。バランスの点から女性をとという考え方もあるのでは。

([REDACTED])

海外からの芸術監督となった場合、旅費等はどこまで担保されるのか。

(事務局)

全体の予算の中で柔軟に対応していきたい。

([REDACTED])

芸術監督選考にあたり、海外からや過去に務めた経験のある人物の再起用など、視野を広げていく必要がある。ヴェネツィア・ビエンナーレでは、同じ人物が2度芸術監督を務めた実績もある。トリエンナーレは、大学が休講となる夏季に開始となるため大学教授のほうが対応しやすいという見方もあるものの、過去の選考においてこの点が検討要件とはならなかったし、また、候補者を検討する段階で、「多忙のため候補者にはなり得ない」と選択肢を狭める必要もないのでは。現代美術を軸とする点は譲れないが、札幌国際芸術祭では坂本龍一氏をゲストディレクターに迎え音楽を大きな要素としたように、現段階で音楽の専門家を選択肢から切り離すものでもない。

事務局からも具体的な候補者案があれば出していただきたい。

(事務局)

5月22日までに各委員から1~2名を推薦いただいたものに、事務局における候補者案を加えた上でリストを作成し、次回委員会前に送付させていただく。

あいちトリエンナーレ実行委員会 第2回芸術監督選考委員会（結果概要）

- 1 日時
平成29年6月4日（日） 午後2時から3時30分まで
- 2 場所
愛知芸術文化センター 会議室4（7階）
- 3 出席者
委員5名、オブザーバー2名（別紙「出席者名簿」のとおり）
- 4 議事概要（会議資料「あいちトリエンナーレ2019 芸術監督候補者一覧」参照）

（1）各委員からのそれぞれの推薦候補者に係る説明

【
】

（
氏及び
氏を推薦）第1回委員会で音楽分野から起用することについて提案したが、
氏は、作曲及びピアニストとしての活動を中心に、
の音楽監督を務めるなど、特に現代音楽分野で幅広く活動している。
のピアニストを長く務め、現代音楽分野での人脈があり、多くの賞歴も誇る。

氏については、肩書（
）が多少気になるころはあるものの、サイエンスとアートを繋ぐ活動をしており、政策的にポジティブで画期的な理論を立てる論文を多く上梓している。

【
】

（
氏及び
氏を推薦）男性が3名続いたこともあり、4人目は女性が良いのではと考えた。
氏は
在住であるので、
在住のアーティストや
に集まるアーティストの動向をトリエンナーレに反映させられるのではと思う。

氏は、一般的な知名度は高くないかもしれないが、
生まれということで中部地方の文化に理解があるのではと考える。
を務めているが、
も多くの良いアーティストが集まる街であり、そうしたアーティストとも繋がりがあるだろうし、米国のトランプ政権誕生や英国のEU離脱などの世界の動向を意識したトリエンナーレを創ることができるのではないかと。

【
】

（
氏及び津田大介氏を推薦）

トリエンナーレへはそれなりにアートに関心を持つ人が来場しており、また、今やあいちトリエンナーレを知らない人は少ないと思うが、アートへの関心が薄い人にも目を向けてもらうことを狙い、アート専門でない人物を選んだ。津田氏はジャーナリストとして精力的に活動し、TVなどメディアへの露出も多く、ツイッターのフォロワーは130万人を数える。マスメディアへ与える影響力は非常に大きく、あいちトリエンナーレがより多くの人々に浸透することが期待される。ただ、アートに関する知見は未知数であるため、しっかりしたサポート体制を構築する必要があるが、その体制がしっかりしていれば、新たなトリエンナーレを創ることができるのではないかと。なお、同氏は2013年の映像プログラムのトークゲストとして参加、「福島第一さかえ原発」に関心を持ち、TVで紹介していた。

氏は
として積極的に活動しており、東日本大震災以降、
へ足を運び現地へのツアーを企画しており、著書に「
」がある。強いコンセプトを掲げた世界に通用するトリエンナーレを創り上げることができるのではないかと。
のコンペへの参加経験もあり、芸術に関心がない訳ではないと思う。津田氏と同様、如何にしっかりとサポート体制、キュレーターチームを作るかが課題となる。

【
】

（
氏及び
氏を推薦）
氏はバランス感覚に優れ、
にいた

こともあり、世界の動向をよく見ている人物。ただ、一般の人々への知名度がそれほど高くなく、現代演劇及び音楽分野に対する知見がどれほどあるのかは定かではない。

氏は、近年の保守主義的な動向に知見を有する。あまり目立たないが美術展でコメントもしている。アートに対する幅広い知見がどれほどあるのかよく分からない部分があり、知名度は高くないが、現在の社会情勢をよく踏まえている。

【氏】

氏は、社会情勢に対する問題意識が高く批評精神があり、またメディアアートにも詳しく、面白いのではないかと。芸術監督に必ずしも高い知名度が必要であるとは考えておらず、各地のトリエンナーレ、ビエンナーレについても、定着してくると一般的な知名度の高くない人物が芸術監督に就いている。

氏は現代美術に精通しており、穏やかな人物である。多忙であるので時間を確保できるかという点と、氏を拠点としているため活動費についての懸念はある。

【事務局次長】

本日欠席の委員2名について、氏からは氏、氏の推薦があった上で、他の委員の方々が氏を推薦されるのであれば同意する旨、氏からは「あいちトリエンナーレの芸術監督に必要なのは、①独自の思想、②社会的批評性、③美術のみならず現代芸術への幅広い知見、④教育的実践意見であり、加えて高度な文章力と英語によるコミュニケーション能力も必要」であり、氏及び氏が適任と考える（但し、氏は氏と同大学同学科の同僚である）旨の意見を事務局にいただいている。

(2) 候補者一覧にある各人物へのコメント

【氏】

- ・芸術監督に選任された場合、ヴェネツィアビエンナーレなどの国際美術展を視察してもらった上でコンセプト等を考えてもらえれば良いのではないかと。ヴェネツィアビエンナーレ事務局のパオロ・バラッタ氏は、「芸術監督とは、頭にバスケットを載せ、色々な人のアイデアや意見をそのバスケットに取り込み芸術祭を創り上げていくものである」と述べている。(氏) 氏も氏もそれを実現できる人物。(氏)
- ・アートをどのように捉えるかもそうだが、トリエンナーレというフェスティバルをどう捉えるかにも関心がある。(氏)
- ・サブカルチャーのようなアートに関心が高い傾向がある点はやや気に懸かる。(氏)

【氏】

- ・氏は出身がポイントとなる情報であり、氏という視点もユニーク。(氏)
- ・氏を拠点とするため、芸術監督となる場合、どれぐらいの頻度で来日が可能か不安なところはある。(氏)
- ・個人的に少し知っているが、優れたアーティストであり、氏で世界の動向を今の感性で批判精神を持ちながら捉える、最先端のアーティストを選定してもらえるのではないかと。(氏)
- ・意見、主張がはっきりしており、認める人は認めるというタイプ。(氏)

【氏】

- ・一緒に展覧会に関わったことがあるが、人柄が良くバランスが取れている。(氏)
- ・色々な面でバランスが取れて良いのではと思う。(氏)

【氏】

- ・サイエンスとアートという視点から、例えばAIを結びつけて未来志向的なものを創り出せるかもしれない。(氏)
- ・現在の社会動向を踏まえたものという視点からは少し離れるかもしれないが、デザインを中心に捉え

でも面白いものができるかもしれない。()

- ・ からアート分野に進んだ経歴は珍しい。メディアアートなど技術分野に詳しいのは強みであり、人格的にもバランスが取れているが、幅広く目を配る意識があまりないかもしれないので、その点はスタッフがフォローする必要があるかもしれない。()
- ・ トリエンナーレはデザインのみでは成立しないので、芸術監督となる場合はヴェネツィアビエンナーレなど視察してもらったほうが良い。()

【 】

- ・ 様々な分野にどの程度の知見があるかは未知数だが、選任された場合、注目度は高いと思う。()
- ・ 作家を固めれば、国際的な評価は高くなるかもしれない。()
- ・ 話題になると思うが、若いこともあり、様々な意見をバスケットに載せていく力量がどれほどあるかは未知数。()
- ・ レクチャーを開催すると聴講者が殺到するほど人気は高い。ただ、キュレーターとしてどこまで手腕を発揮できるかは見えないところがある。()

【津田大介氏】

- ・ ツイッターのフォロワーも多く、色々な人が注目する明確に色付けされた楽しいトリエンナーレになるのではないかと。様々な意見を取り込むバスケットの役割も果たしうる人物。()
- ・ エッジの効いたものになるのではないかと。選任された場合、 氏にサポートしてもらい、 () の3名をメンバーとした現代アート集団) にも関わってもらえるのも良いのではないかと。()
- ・ 氏に比べ、より現代という時代を捉えており、テーマ性が高いと感じるが、トリエンナーレは長期であり、その間アートに集中してもらえるかはやや気に懸かる。()
- ・ メディア芸術祭への出展作品を観たことがあるが、アートに精通しているわけではない模様。()

【 氏】

- ・ ピアノを教える際に敢えて弦楽器をまず演奏させてみるなど、音楽とは何かを大変論理的に説明しており、また人類学とアートなど新しい考え方を示すなど、明晰なコンセプトを打ち出せるのではないかと。()
- ・ 資格を備えていると思うが、音楽家はコンサートホールにいる時間が長く、物理的に時間を割けるかどうかやや不安であり、また、どこまで様々な意見を取り込むバスケットとなれるか未知数。()

【 氏】

- ・ あいちトリエンナーレにも関わっており、連続性があり前回の港監督からという流れを考えるとスムーズ。時代に対する問いかけを踏まえたものになるのではないかと。()
- ・ に携わっているが、 は世界各地で開催されている大規模な国際展に対するアンチテーゼの意味合いも含め開催されたものでもあり、あいちトリエンナーレにどういう考えを持っているのか。小規模なものは得意だと思うが、愛知ほどの規模のものを監督できるかその手腕は未知数。()
- ・ 物事を深く掘り下げて考察するタイプ。 を務めていたが、音楽出身ではなく、愛知の独自性である複合的な展開が期待できるのではないかと。()

【 氏】

- ・ を務めた経験があるが、メジャーでない作品を意図的に取り上げるかもしれない。同時代性をどのように捉えるか分からないところがある。()

- ・草の根的な現代美術を旨としており、愛知のような大規模なものをどう取りまとめていくか。人物としては、物静かで堅実、自分のスタンスをしっかりと持っている。()
- ・ と協働し という書籍を刊行したが、編集というものを幅広く捉えていることが分かる。()
- ・東海地方で活動していた時期もあり、このエリアにも影響を受けた人が多くいるのではないかと。教育の場や現場で活発に活動している人物。()

(3) 3名程度の候補者の選定

多数決により、①津田大介氏、②、③、(④) の順で候補者とすることに決定。事務局より、津田氏より順に打診することで全員同意。

【以下、上記のとおり候補者を決定する過程において出た意見】

- ・4名の誰が芸術監督を務めるとしても面白いものになると思うが、津田氏が最も意外性があり、愛知らしさを出せるのではないかと。アートについては未知数なところはあるが、その点も含め冒険してみても良いのではないかと。()
- ・津田氏は編集長も務めており、情報を整理する能力に長けているほか、行動的な人物。あとはバックアップ体制を如何に構築できるかが鍵となる。 となる場合、津田氏がトークゲスト等で参加するかもしれないし、津田氏となる場合は が企画に関わる可能性もある。()
- ・あいちトリエンナーレも4回目となりリピーターを増やしていくことが重要。その点において、津田氏はエッジの効いたワクワク感のあるものを創ることができるのではないかと。芸術監督決定後、バックアップ体制についてよく議論する必要がある。海外の国際展を視察してもらい、トリエンナーレが通常の企画展とは異なることを明確に理解してもらわなければならない。()
- ・2022以降を考えると、 氏には、女性という視点からみずれお願いしても良いと思う。
()
- ・ 氏及び 氏は知識もリサーチ力もある程度備えているため、キュレーター面でのフォローは適度に行えば良いのではないかと。津田氏の場合、作家の選定などのバックアップ体制が必須である。
()

(4) 2022以降の選考委員会に対する要望等

()

選考に入る前に、事務局からあいちトリエンナーレの現状及び抱える課題を各委員に説明してもらい、それらを委員間で共有した上で選考に移ることのできる体制を整えてもらいたい。今回示された選考条件は、概念的に条件を示したものであるが、事務局の専門スタッフの意見も取り入れた、より現実的、具体的な条件を示してもらえると有難い。

()

2022については、簡潔なもので構わないのでこれまでの選考委員会における議論を各委員に予め共有した上で、選考に係る議論を進めてほしい。

()

芸術監督への決定後、ヴェネツィアビエンナーレ、ドクメンタ、ミュンスター彫刻プロジェクト等の海外の国際展を視察してもらう機会を是非設けてほしい。芸術監督選任に際しての条件ではないが、選考を行う立場からの強い希望ではある。

(以上)

有識者部会の結果

日 時：平成 29 年 10 月 20 日（金）11:00～12:00

出席者：神田総長〈議長〉、建畠委員、五十嵐委員、中井委員、加須屋委員、
藤川委員、川北委員、鳥居委員、伊東アドバイザー、南参与、津田芸術監督

内 容：以下のとおり

【主な意見】

（テーマ・コンセプト）

- 美術界の監督からは出てこないテーマであり、津田さんが芸術監督に選ばれたのはそれを期待されてのことだと思う。
- コンセプトが長文で一般の方には難しいかもしれないので、場面により使い分けられるように、わかりやすいものを用意してはどうか。
- テーマの日本語と英語のニュアンスに違いがあるようだが、それがかえって心に残り、良いのではないか。

（その他）

- あいちトリエンナーレは、日本の数ある芸術祭の中で、国際的なスタンダードに近いものである。芸術監督が権限を持ち、あいちの特性を生かして、しっかりと進めて行ってほしい。
- あいちトリエンナーレは、2013 以降、名古屋市外の都市も会場としてきた。心配な面もあったが、結果的に上手くいっており、次回も期待する。
- あいちトリエンナーレは、芸術文化センターの機構を生かして、パフォーマンスアーツなど現代美術以外の他のジャンルの芸術も展開してきたので、次回も期待する。
- 今後、作家選定など具体化していく段階において、キュレーター等とのコミュニケーションを密にいただき、いい芸術祭となるよう期待している。
- 情報技術やメディアに強い津田さんの発信力に期待している。

あいちトリエンナーレ実行委員会 有識者部会
出席者名簿

【有識者部会委員】

愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	部会長
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	(欠席)
多摩美術大学学長	建畠 哲	
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	
多摩美術大学教授	港 千尋	(欠席)
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	
名古屋市立大学教授	水野 みか子	(欠席)
山口大学教授	藤川 哲	
南山大学教授	川北 眞紀子	
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	(欠席)

【オブザーバー】

愛知県県民生活部長	鳥居 保博	委員
(独)国際交流基金ジャポニスム事務局部長 審議役	伊東 正伸	アドバイザー
愛知県美術館館長	南 雄介	参与

【あいちトリエンナーレ 2019 芸術監督】

ジャーナリスト／メディア・アクティビスト	津田 大介	
----------------------	-------	--

有識者部会の結果

日 時：平成30年3月22日（木）11:00～12:00

出席者：建畠委員〈議長〉、松村委員、港委員、加須屋委員、水野委員、藤川委員、川北委員、紫牟田委員、鳥居委員、伊東アドバイザー、南参与、早瀬参与、津田芸術監督

内 容：以下のとおり

【主な意見】

（全体）

- あいちトリエンナーレは、毎回、芸術監督が代わり、リフレッシュしている。今回も、津田芸術監督らしい内容で、変化が明確に伝わる。
- 作家の選定や音楽プログラムの内容について、あいちトリエンナーレのテーマ性に呼応するものとなることを期待する。

（現代美術）

- 各地で芸術祭が行われており、既視感につながらないような作品選定を希望する。

（音楽プログラム）

- プロデュースオペラがないのは残念であるが、音楽プログラムにより、現代美術とは違う新しい客層の取り込みが期待できそうである。

（ラーニング）

- 地域の人たちや多くの年齢層が関われるようなプログラムを、美術館の中だけでなく、まちなかなどで展開したら面白いのではないか。

（その他）

- 瀬戸内国際芸術祭など国内の他の芸術祭との連携に限らず、アジア地域との連携も考えてはどうか。
- モバイルトリエンナーレなどを近接県や首都圏などで展開してはどうか。
- SNSの発信や東京・関西でのPRにも力を入れてほしい。

あいちトリエンナーレ実行委員会 有識者部会
出席者名簿

【有識者部会委員】

(敬称略)

愛知芸術文化センター総長	神田 真秋	部会長(欠席)
愛知県立芸術大学学長	松村 公嗣	
多摩美術大学学長	建 畠 哲	部会長代理
東北大学大学院教授	五十嵐 太郎	(欠席)
多摩美術大学教授	港 千 尋	
京都市立芸術大学教授	加須屋 明子	
国立国際美術館学芸課長	中井 康之	(欠席)
名古屋市立大学教授	水野 みか子	
山口大学教授	藤 川 哲	
南山大学教授	川北 眞紀子	
紫牟田伸子事務所	紫牟田 伸子	

【オブザーバー】

愛知県県民生活部長	鳥居 保博	
(独) 国際交流基金ジャポニスム事務局部長 審議役	伊東 正伸	
愛知県美術館館長	南 雄 介	
愛知県芸術劇場館長	丹羽 康雄	(欠席)
名古屋市美術館館長	早瀬 弘親	

【あいちトリエンナーレ 2019 芸術監督】

ジャーナリスト/メディア・アクティビスト	津田 大介	
----------------------	-------	--

あいちトリエンナーレ実行委員会 参与会議の主な意見

1 日時

平成 30 年 4 月 25 日（水）午後 1 時 30 分から午後 2 時 10 分まで

2 場所

愛知県図書館 大会議室（5 階）

3 出席者

16 名（別紙「出席者名簿」のとおり）

4 内容

報告事項：あいちトリエンナーレ 2019 の開催概要について

（津田芸術監督から、「あいちトリエンナーレ 2019 「情の時代」プレスリリース」に基づき、説明）

【質問、意見等】 *回答者：津田芸術監督

○ 愛知万博の後、ぜひ、国際芸術祭を開催しようという動きがあり、この「あいちトリエンナーレ」を開催している。ぜひ成功させてほしい。

⇒まさに問題意識にも繋がっている。この仕事を引き受けるに当たり、昨年は、ヨーロッパで、ヴェネチア・ビエンナーレ、ドクメンタ、ミュンスター彫刻プロジェクトが同時に開催された年だったため、世界の芸術祭を視察してきた。それぞれ、ジャーナリズムの要素が強かったり、祝祭的であったりと特徴があり、シリアスなものばかりではなく、祝祭的なものとのバランスを考えていきたい。

今回は、愛知芸術文化センター、オアシス 21、まちなかでも音楽プログラムを展開し、新しい“祝祭的”なものをつくれるのではないかと考えている。

○ 「祝祭感のある音楽プログラム」というのは抽象的な表現だが、どのようなものなのか。

⇒愛知芸術文化センターは、コンサートホールとして非常に優れた施設で、隣接するオアシス 21 は非常に開放感がある。一つは、オアシス 21 から愛知芸術文化センターの中を回遊するような、自然と歩いていくと音楽があり、音楽を求めて歩いていくと途中で美術作品があるような誘導をしたい。もう一つは、既に行われているような音楽フェスやジャズを行うのではなく、美術と音楽が融合したようなプログラム、他のフェスではやっていないような表現を具体的にミュージシャンにやってもらいたい。今回は、「情の時代」という大きなテーマを設定したため、「情の時代」というところからスタイルされたいつもととは違うことをやりたいと思っている。

あいちトリエンナーレ実行委員会 参与会議 出席者名簿

	職 名	氏 名	出欠
参与	愛知県議会総務県民委員会委員長	須崎 かん	欠席
参与	名古屋市会経済水道委員会委員長	佐藤 あつし	出席
参与	中京テレビ放送代表取締役社長 (代理 事業局イベント事業部長)	小松 伸生 (山本 章二)	代理出席
参与	CBCテレビ代表取締役社長 (代理 事業局事業部付部長)	林 尚樹 (張田 宜成)	代理出席
参与	テレビ愛知代表取締役社長 (代理 総務経理局総務部)	高橋 美夫 (伊藤 佑輔)	代理出席
参与	東海テレビ放送代表取締役社長 (代理 事業局専門局長)	内田 優朗 (杉田 朗)	代理出席
参与	名古屋テレビ放送代表取締役社長	横井 正彦	欠席
参与	朝日新聞社名古屋本社代表 (代理 統括センター長)	坂本 弘子 (鈴木 裕)	代理出席
参与	日本経済新聞社常務執行役員名古屋支社代表	山崎 宏	出席
参与	毎日新聞社常務執行役員中部代表	小泉 敬太	出席
参与	読売新聞東京本社執行役員中部支社長 (代理 編集・経営管理担当)	足達 新悟 (岡田 悟)	代理出席
参与	名古屋音楽大学学長	佐藤 恵子	出席
参与	名古屋芸術大学学長	竹本 義明	出席
参与	名古屋造形大学学長	山本 理顕	欠席
参与	愛知県小中学校長会会長 (代理 副会長)	松村 光洋 (澤田 豊喜)	代理出席
参与	愛知県公立高等学校長会会長 (代理 理事)	竹下 裕隆 (杉山 賢純)	代理出席
参与	名古屋市立小中学校長会会長	川北 貴之	欠席
参与	愛知県私学協会会長	石田 正城	欠席
参与	愛知芸術文化協会顧問	藤井 知昭	出席
参与	愛知県美術館館長	南 雄介	出席
参与	愛知県芸術劇場館長	丹羽 康雄	出席
参与	名古屋市美術館館長	早瀬 弘親	出席

有識者部会の結果

日 時：平成 31 年 3 月 27 日（水）11：00～12：05

出席者：神田総長〈議長〉、港委員、加須屋委員、中井委員、藤川委員、川北委員、
紫牟田委員、鳥居部長、伊東アドバイザー、津田芸術監督
南県美術館長、丹羽芸術劇場館長、早瀬名美術館長

【主な意見】

（開催概要）

- 開催市を 2 か所に絞り、会場ごとに特徴的な展示を工夫しているということで、どのような展示が見られるか期待している。

（企画概要）

- 情報により分断した現代社会を、アート力で解決しようとする取組を楽しみにしている。
- ジェンダー問題に正面から取り組んでいることは、ヴェネチア・ビエンナーレの例を見ても世界の芸術祭の潮流であり、国内では「あいちトリエンナーレ」で初めて取り組まれることは意義深い。
- 「情の時代」という極めて日本的なテーマを、しっかりと外国のアーティストにも理解してもらって作品制作をしているということで楽しみである。

（テーマ・参加アーティスト）

- 「情の時代」というテーマで、経験のある作家には任せ、若い作家には丁寧に共有したうえで作品を依頼しているとのことで、期待している。
- 「情の時代」というテーマに共感した作家が積極的に新作を制作しているということで楽しみである。

（連携事業）

- 他芸術祭との連携はこれまでやれなかったことで、素晴らしい取組だと思う。

（その他）

- 作品ではなく、作家名を前面に出したポスターもインパクトがあってよいと思うが、どの作家がどの会場で展示するかも聞けるとよかった。
- アートとビジネスの関係づくりにも、共感いただける企業には協賛を働きかけるなど、積極的に取り組んでいるとのことで、またその取組結果を聞かせてほしい。
- 海外への広報も大切であり、しっかりと取り組んでほしい。

あいちトリエンナーレ実行委員会 有識者部会 出席者名簿

(敬称略)

【有識者部会委員】

所 属・職	氏 名	備 考
愛知芸術文化センター総長	神 田 真 秋	部会長
多摩美術大学教授	港 千 尋	
京都市立芸術大学教授	加須屋明子	
国立国際美術館副館長	中井 康之	
山口大学教授	藤 川 哲	
南山大学教授	川北真紀子	
紫牟田伸子事務所	紫牟田伸子	
愛知県県民文化部長	鳥居 保博	

【アドバイザー】

所 属・職	氏 名	備 考
独立行政法人国際交流基金 文化事業部 審議役	伊 東 正 伸	

【「あいちトリエンナーレ 2019」芸術監督】

所 属・職	氏 名	備 考
ジャーナリスト／メディア・アクティビスト	津 田 大 介	

【オブザーバー】

所 属・職	氏 名	備 考
愛知県美術館館長	南 雄 介	
愛知県芸術劇場館長	丹羽 康雄	
名古屋市美術館館長	早瀬 弘親	

あいちトリエンナーレ実行委員会 参与会議の結果について

1 日時

平成 31 年 4 月 26 日（金）午後 3 時から午後 4 時まで

2 場所

愛知芸術文化センター 12 階 アートスペース A

3 出席者

14 名（別紙「出席者名簿」のとおり）

4 内容

報告事項：「あいちトリエンナーレ 2019」の進捗状況について

（津田芸術監督から、「あいちトリエンナーレ 2019」プレスリリース（2019 年 3 月 27 日）に基づき、説明。）

【質疑応答の概要】 *回答者：津田芸術監督

○ 今回は、オペラは行わず、（まちなか会場が）四間道・円頓寺になるとのことだが、パフォーミングアーツは行わないのか。

⇒パフォーミングアーツは行うが、まだ準備段階であり、詳細な発表は 6 月になる。今回、パフォーミングアーツは、国際舞台芸術祭「フェスティバル/トーキョー」に携わっていた相馬千秋氏がディレクターとなり、ここでしか見られないようなものが企画として上がってきている。企業協賛により、予算措置にも目途が立ったところであり、ご期待いただきたい。四間道・円頓寺に関しては、四間道・円頓寺でのパフォーミングアーツや、毎日、音楽プログラムを行うことなどを企画している段階。まだ調整中のため、詳細が決まったら別途、記者発表したい。

あいちトリエンナーレ実行委員会 参与会議 出席者名簿

(敬称略)

区分	職 名	氏 名	出欠
参与	愛知県議会総務企画委員会委員長	伊藤 辰夫	出席
参与	名古屋市会経済水道委員会委員長	鹿島としあき	欠席
参与	中京テレビ放送代表取締役社長 (代理 事業局次長兼事業部長)	小松 伸生 (安藤 元博)	代理出席
参与	CBCテレビ代表取締役社長 (代理 事業局事業部付部長)	林 尚樹 (張田 宜成)	代理出席
参与	テレビ愛知代表取締役社長	宮本 明彦	出席
参与	東海テレビ放送代表取締役社長 (代理 事業部長)	内田 優 (竹中 麻紀)	代理出席
参与	名古屋テレビ放送代表取締役社長	横井 正彦	欠席
参与	朝日新聞社名古屋本社代表	長 典俊	出席
参与	日本経済新聞社常務執行役員名古屋支社代表	新井 裕	欠席
参与	毎日新聞社常務執行役員中部代表	若菜 英晴	欠席
参与	読売新聞東京本社執行役員中部支社長	依田 裕彦	出席
参与	名古屋音楽大学学長	佐藤 恵子	出席
参与	名古屋芸術大学学長 (代理 副学長)	竹本 義明 (津田 佳紀)	代理出席
参与	名古屋造形大学学長 (代理 副学長)	山本 理顕 (伊藤 豊嗣)	代理出席
参与	愛知県小中学校長会会長職務代理者	中谷 真人	出席
参与	愛知県公立高等学校長会会長	荻原 哲哉	欠席
参与	名古屋市立小中学校長会会長	坂野 幸彦	欠席
参与	愛知県私学協会会長	石田 正城	欠席
参与	愛知芸術文化協会顧問	藤井 知昭	出席
参与	愛知県美術館館長	南 雄介	出席
参与	愛知県芸術劇場館長	丹羽 康雄	欠席
参与	名古屋市美術館館長 (代理 総務課長)	早瀬 弘親 (橘 弘子)	代理出席